

IV. 用語の解説

IV. 用語の解説

※ HIV (Human Immunodeficiency Virus : ヒト免疫不全ウイルス)

エイズ（後天性免疫不全症候群）の原因となるウイルスで、非常に弱いウイルスです。通常の社会生活では感染者と暮らしても、まず感染することはありません。このウイルスが体の中で増えると、体に備わっている抵抗力(免疫)が徐々になくなり、健康なときにはかからない感染症や悪性腫瘍を引き起こされることがあります。

※ ハンセン病

らい菌による感染症で、その感染力は非常に低く、日常生活で感染することはほとんどありません。らい菌に感染しただけでは発病する可能性は極めて低く、発病した場合でも現在ではすぐれた治療薬が開発されていて、早期発見・早期治療により、後遺症を残さずに治る病気です。また、確実な治療法がなかった時代においても、ハンセン病が原因で死亡することはほとんどありませんでした。

※ 性的指向

いずれの性別を恋愛や性愛の対象にするかをいう、人間の根本的な性傾向のことをいいます。おおまかには、「異性愛」、「同性愛」、「両性愛」に分類されます。

※ 性同一性障害

「生物学的な性別と自己意識の性別が一致しないために、生物学的な性別に違和感を持つ」医学的な疾患名です。一般には、「心と身体の性が一致しない状態」と説明されることもあります。

※ 人身取引

人間を誘拐などの強制的な手段や甘い言葉などによって誘い出し、移送し、金銭などによって売り払う行為のことで、対象の多くは女性や子どもとなっています。その目的は、強制労働や養子、性的搾取、臓器移植などがあります。

※ ハラスメント（いやがらせ・いじめ）

他者に対する発言・行動等が本人の意図には関係なく、相手を不快にさせたり、尊厳を傷つけたり、不利益を与えたり、脅威を与える行為のことです。

例：セクシュアル・ハラスメント（性的いやがらせ）、パワー・ハラスメント（職場の権力（パワー）を利用したいやがらせ）、マタニティ・ハラスメント（妊娠・出産した方に対するいやがらせなどの言動や、解雇・減給といった不利益取扱い）などがあります。

※ ドメスティック・バイオレンス（DV : Domestic Violence）

一般的には「夫婦や恋人など親密な関係にある人、又はあった人からの暴力」という意味で使われます。暴力の種類には、身体的暴力、精神的暴力、社会的暴力、経済的暴力、性的暴力などがあります。また、若い世代を中心とした交際中の相手との間で起こる「デートDV」も問題となっています。

※ 同和地区

同和問題は、日本固有の問題であり、その早期解消を図るため、昭和44年7月に公布・施行された「同和対策事業特別措置法」から始まって、昭和62年4月に施行された「地域改善対策特定事業に係る国の財政上の特別措置に関する法律」が平成14年3月に失効するまでの間、同和地区の環境改善や同和教育・人権啓発などの取組みが進められてきました。

取組みを進める際の対象地域として、法律で一定の地域が「同和地区」と指定されていました。

この調査での「同和地区」とは、これらの法律で指定されていた地域をさします。

※ えせ同和行為

個人や団体が、同和問題への取組みを口実に高額な図書を購入を迫るなど、不当な利益を要求する行為をいいます。

※ ファミリー・サポート・センター

「子育ての援助を受けたい人(依頼会員)」と「子育ての援助を行いたい人(援助会員)」が会員となって、地域において助け合う会員制の有償ボランティア組織です。

※ バリアフリー

主に生活弱者である高齢者や障害者が生活する上で、支障となる物理的・精神的な障壁(バリア)を取り除くための取組みや障壁を取り除いた状態のことをいいます。

※ ユニバーサルデザイン

文化や言葉の違い、老若男女といった差異、障害や能力の違いを問わずに、あらゆる人が利用できる施設・製品・情報の設計(デザイン)をいいます。

バリアフリーが「障害者などが生活していくうえで障壁となるものを取り除くこと」をさすのに対して、ユニバーサルデザインは「もともと障壁がない環境とデザイン」のことをいいます。

※ 災害と人権

平成23年3月11日に発生した東日本大震災では、避難生活において多くの課題が生じました。例えば、様々な疾患の発生・悪化、高齢者や障害者、妊婦等の要配慮者に必要なケアや対応の不足、指定避難所以外の避難所や在宅の被災者に支援が行き渡らないなどといったものがあげられます。

また、原子力発電所の事故により、周辺住民が避難先において風評に基づく差別的扱いを受けるなどの事態も発生しました。

突然起こる災害に対して、どういった人権問題が起き、どのような人権への配慮が必要になるのかを考え、日ごろから人と人とのつながりを意識し、正しい知識と思いやりの心を持つことが大切です。